議会情報便

カワサキ

No.215

発行日 令和元年7月31日
発　行 川崎町議会
編集　議会広聴・広報委員会

「ひびけ　どこまでも」

2P 特集 アンケート調査 広報と議会活動に反映

8P 町政を問う「道の駅」構想など

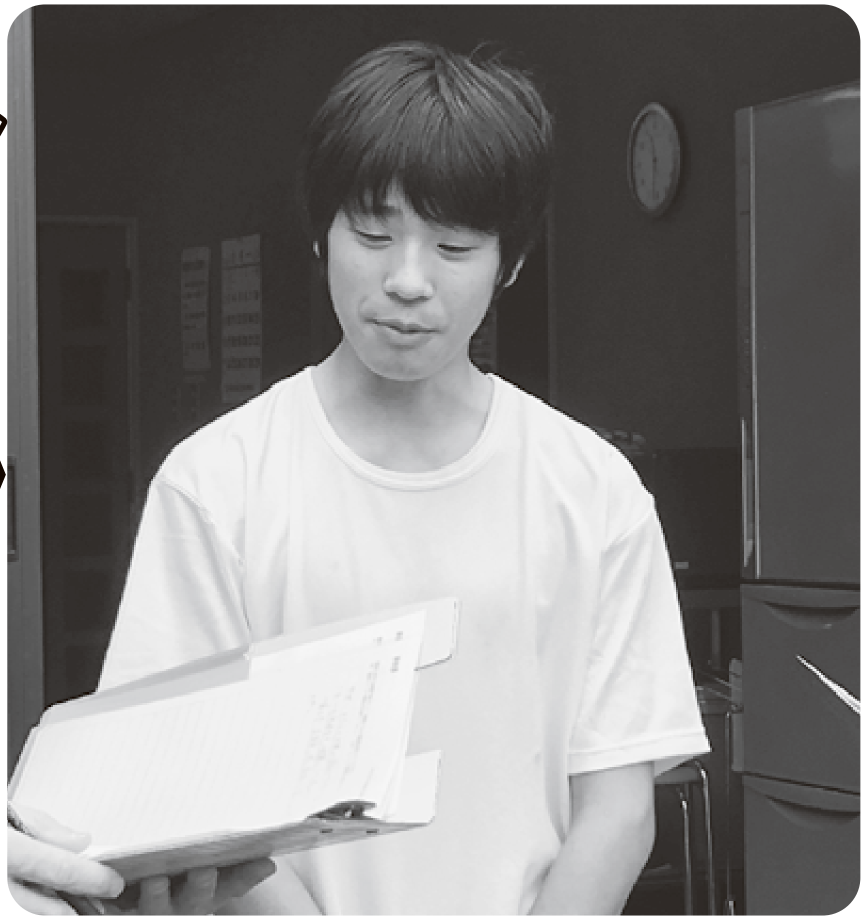
20P 研修レポート 情報から学ぶ

23P かわさき想い人 白衣の捕獲隊員

議会と広報紙 特集 町民に聴く!!

議会広聴・広報委員会では、議会の審議内容や委員会活動などを町民の皆さまに分かりやすく伝えるため、議会広報紙づくりに取り組んでいます。

このほど、町民の皆さまの声を議会広報紙に反映するため、アンケート調査を実施しました。

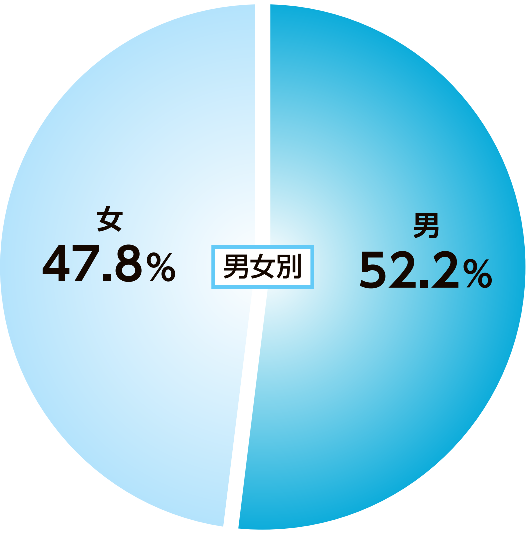


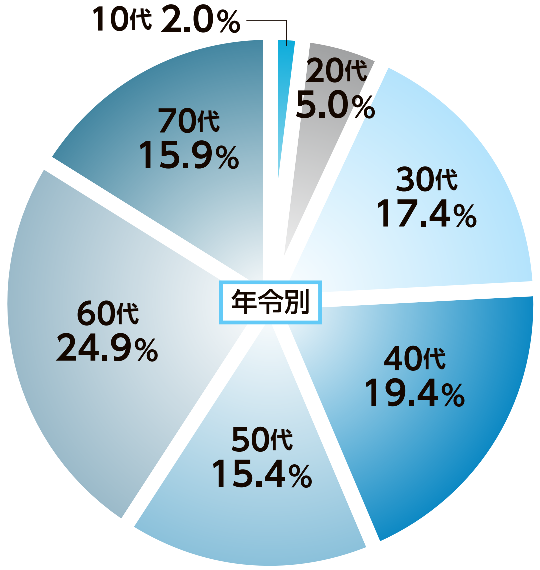
▲質問に笑顔で答えてくれました

役場で ご自宅で 学校で 商店で 201人に聴きました

調査は、6月24日から7月10日まで

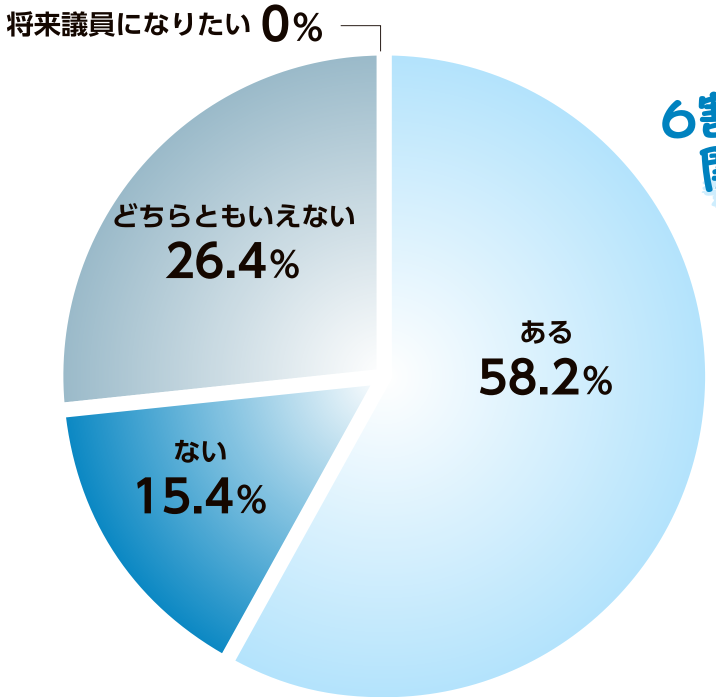
アンケート調査各構成割合





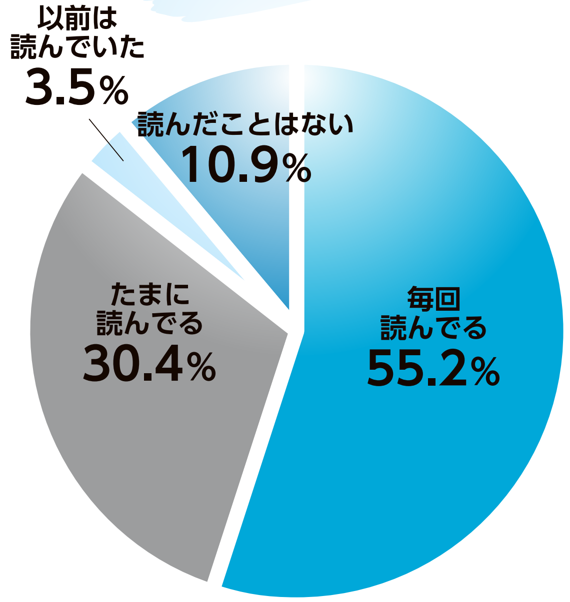
Q1 議会活動あるいは議員に関心はありますか

およそ6割の方々が関心あり!



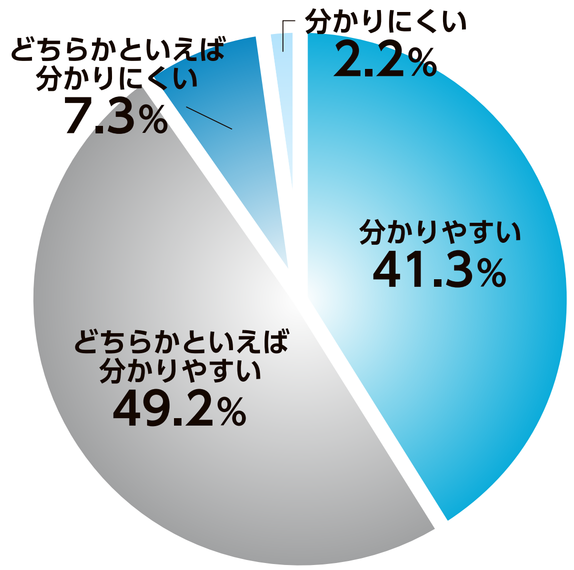
Q2 読んだことはありますか

多くの町民が読んでいる!

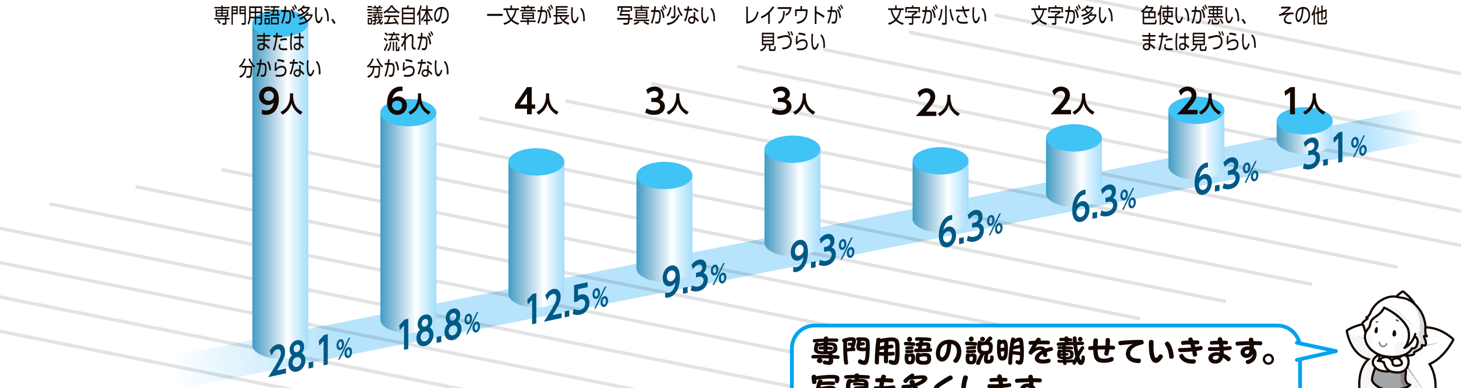


Q3 感想は

分かりやすいと好評価!

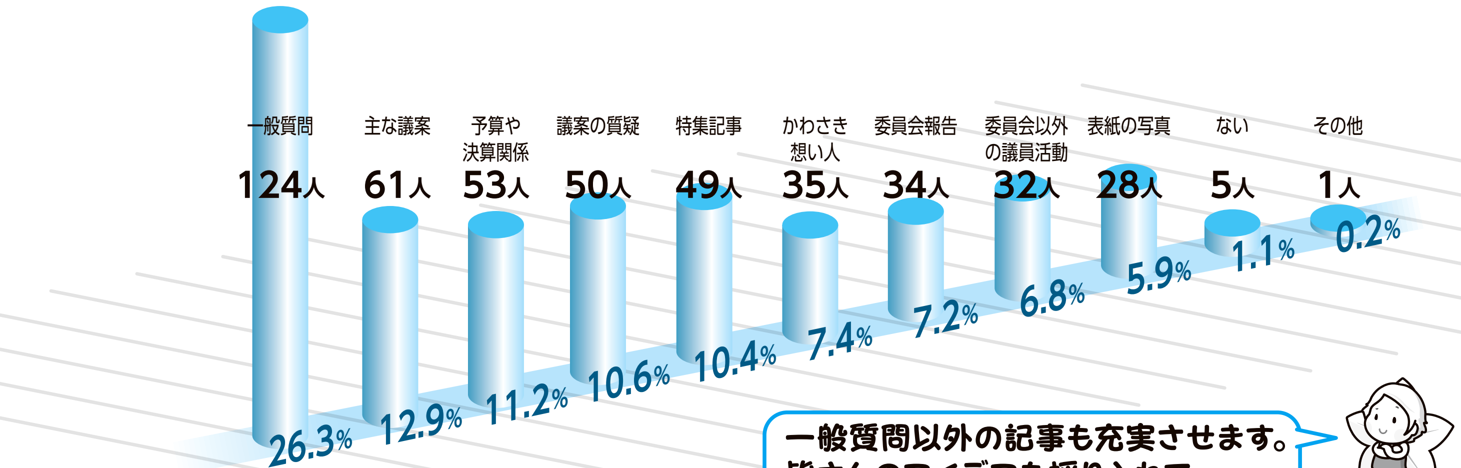


Q4 分かりにくい・どちらかといえば分かりにくいと答えた方、理由は（複数回答）



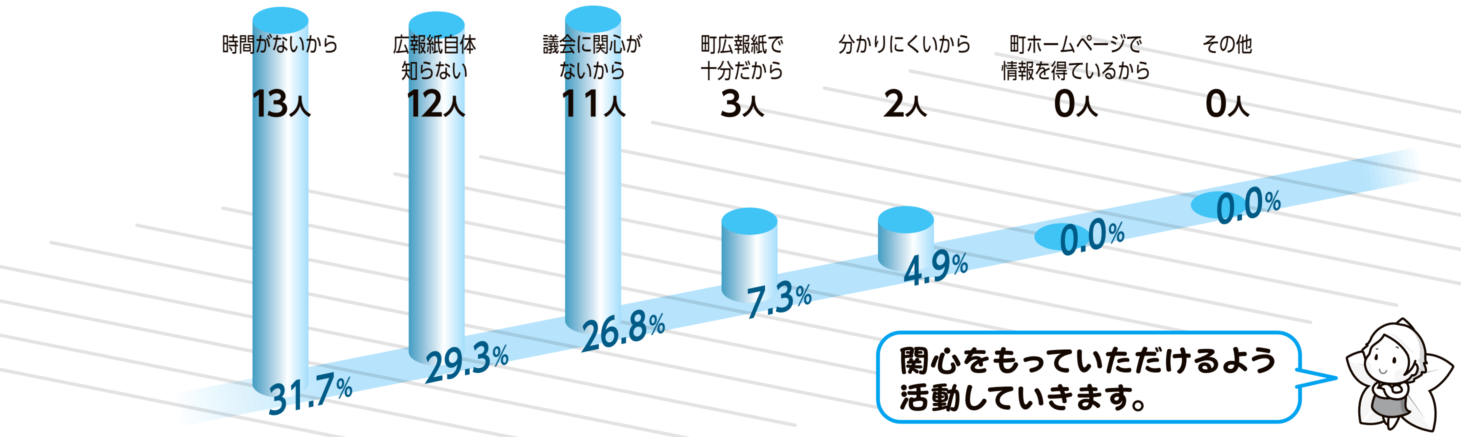
専門用語の説明を載せていきます。写真も多くします。

Q5 どのような記事に関心がありますか（複数回答）

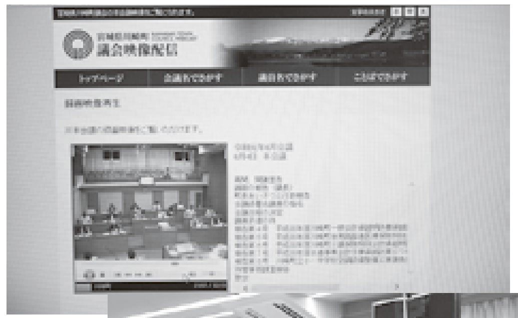


一般質問以外の記事も充実させます。皆さんのアイデアも採り入れて。

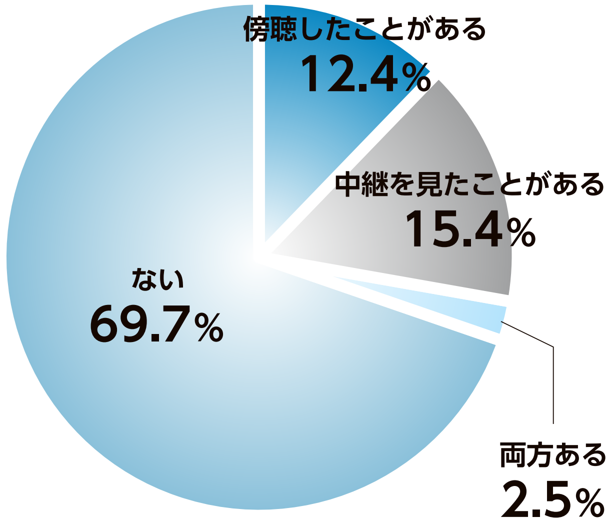
Q6 読んでない理由は（複数回答）



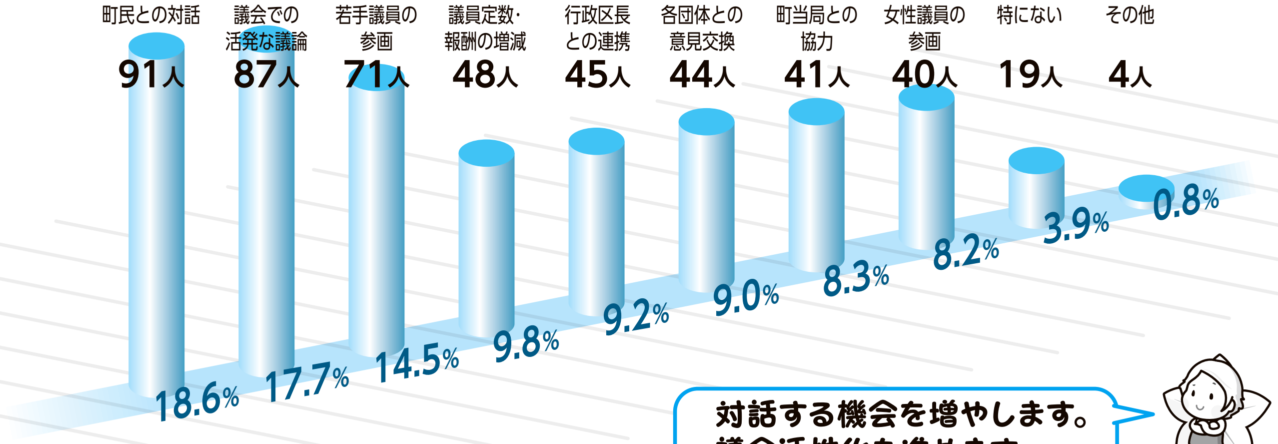
関心をもっていただけるよう活動していきます。



Q7 議会を傍聴したことや、ライブ中継（録画を含む）を見たことがありますか



Q8 議会に必要だと思うことはありますか（複数回答）



対話する機会を増やします。議会活性化も進めます。

声

今回の調査に際して、たくさんのご意見を伺いました。その一部を紹介します。

■子育てに入るので、教育に関心あり。予算の使い方を知りたい。（20代男性）

■若い人が住みやすい町づくりを。（20代女性）

■仙台・山形に隣接。住みやすさをPRしながら、移住への雰囲気づくりを考えて。（30代男性）

■就学・就職するうえでのメリットをつくる。（奨学・就業支援）（30代男性）

■近くでも下校時スクールバスを利用できるように。（30代女性）

■（仮称）かわさき会議。フリー意見交換開催の場を。（30代女性）

■報酬をあげて、年金や福利厚生がしっかりしていれば若い人も参加できる。（40代男性）

■町民運動会などの町一体の行事が必要では。（40代女性）

■若手や女性が、議員に立候補できる環境が必要。（50代男性）

■議員年齢のバランスが整えば各世代の多様な意見が出てよいのではと思う。（50代女性）

■2カ所の高速道インターを有効利用できるよう検討してほしい。（観光や企業誘致）（60代男性）

■町のイメージは、道でわかる。環境整備を。（60代女性）

■議員は名誉職なので、報酬はなし。議会は代議員制とし、構成は、区長・民生委員・保護司・教育委員・農業委員など、60人。（70代男性）

■高齢者に対する支援を。（70代女性）

6月会議

1億869万円を追加

6月4日から7日までの会期で開きました。町から提案された条例制定案1件、条例改正案4件、補正予算案1件、人事案1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

ここでは、その一部を紹介します。

また、一般質問では8人が町政を質しました。

▲川二小体育館西側

一般会計補正予算

■提案理由

歳入歳出予算に1億869万円をそれぞれ追加し、総額を51億7400万円とするものです。

■補正内容

- ●「ようこそ川崎町助成金」や「廃校活用施設によるまちづくり促進事業」等 2248万円
- ●消費増税に伴う財政支援プレミアム商品券発行 1808万円
- ●「藤株山地区農道整備事業」と「前川地区中山間地域総合整備事業」負担金等 3399万円
- ●町道野上町裏線交差点改修工事 1000万円
- ●川崎小・川崎中学校の消火栓設備配管改修工事等 2414万円

森林環境譲与税基金

条例制定

■提案理由

手入れの不十分な森林の整備等を目的に「森林環境譲与税」が交付されます。適正に管理し、計画的・効率的に運用するために、基金条例を制定するものです。

▲森に光を

分館を健康増進棟に

公民館等の設置及び管理に関する条例改正

■提案理由

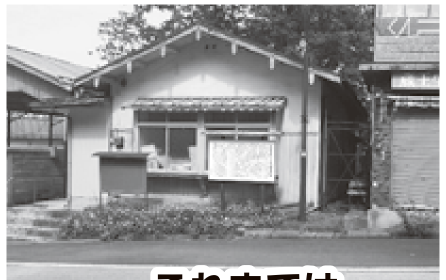
昭和53年に建築した「川崎町公民館青根分館」は、老朽化が著しく分館活動が行えない状況から、青根分館を廃止するため改正するものです。

問 石野議員

青根分館閉館後、青根の住民はどこを使うのですか。また、分館に備えてある図書はどこへ移動するのですか。

答 生涯学習課長

閉館後はじゃっぽの湯健康増進棟を利用することで、行政区長、分館長と合意しています。図書も増進棟に設置できるか検討中です。


これまでは

これからは

自動車取得税 廃止

税条例改正

■提案理由

令和元年10月から県税の自動車取得税が廃止され、自動車環境性能割は県税、軽自動車環境性能割は町税として新設。環境性能割の非課税規定を県内統一にするため改正するものです。

▲軽自動車税環境性能割は町税に

人事案件

固定資産評価審査委員(再任)

鈴木(すずき) 昭夫(あきお) さん
(中新町)

委員の選任に同意しました。

任期 令和元年7月28日から令和4年7月27日までの3年間。

介護保険料軽減

条例改正段階的に

■提案理由

本年10月に予定されている消費税率引き上げに伴う低所得者の保険料軽減策として、改正するものです。

対象者の所得等の要件		第1段階	第2段階	第3段階
		世帯全員が市町村民税非課税		
		●本人年金収入等80万円以下 ※生活保護被保護者、世帯全員が市町村民税非課税の老齢福祉年金受給者も含む	●本人年金収入等80万円超え120万円以下	●本人年金収入等120万円超え
年額	H30年度	34,450円	57,420円	57,420円
	R1年度	28,710円	47,850円	55,500円
	R2年度	22,960円	38,280円	53,590円

町政を問う

8人の議員が質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

◆ 佐藤 昭光 議員 …… 9
(1) 人口減少対策
(2) 国保会計

◆ 神崎 安弘 議員 …… 10
(1) まちづくりの進捗と自己評価

◆ 的場　要 議員 …… 11
(1) 完全給食導入
(2) 若い世代との意見交換

◆ 眞幡 善次 議員 …… 12
(1) 水車をいかした地域おこし

◆ 高橋 義則 議員 …… 13
(1) 道の駅開設
(2) 県道秋保温泉川崎線の現状

◆ 佐藤 達也 議員 …… 14
(1) 特殊詐欺への対応
(2) 地域コミュニティの課題

◆ 遠藤 美津子 議員 …… 15
(1) 不育症支援
(2) 制服の自由選択制の導入

◆ 沼田 長一 議員 …… 16
(1) 空き家対策
(2) エアコン設置補助

問 人口急減 独自の対策は
答 施策の方向性に誤りはない

佐藤　昭光 議員

問 今年3月末までの10年間で町の人口は1511人減っています。年間150人ずつ減った計算になります。町独自の対策を考えていますか。

答 町長

人口減少問題は多くの要因が絡み合っています。子育て支援や学校環境の充実など、さまざまな政策をこつこつ実施していきます。

問 町の人口は2060年には4400人台と、さらに半減すると予測されます。町民から広くアイデアを求めては。

▲本荒町は10年で224人減

答 町長

町民から意見を聞く姿勢は一番大切と考えています。

問 国は10月から幼稚園・保育所を無料化して子育て支援に力を入れます。当町の施策との整合性は。

答 町長

誕生祝い金や18歳までの医療費無料化等、国に先行した面もあると考えています。

問 消費税上げ 国保世帯救済は
答 独自の軽減策 考えはない

問 消費税が10月から2%上がり10%になります。国保世帯の負担軽減策を考えていますか。

答 町長

国保世帯の約4割が総所得に応じて3段階の軽減措置が取られています。独自の負担軽減策は考えていません。

問 国保会計への一般会計からの繰り入れ、つまり支援は県内で当町だけ。平成16年度から28年度まで長期間この赤字補てんが続いたわけは。

答 保健福祉課長

当町では3回税率改正をしたものの被保険者数の減少と保険給付費が増えたことで財源不足が生じたため、一般会計からの繰り入れで補わざるを得ませんでした。

問 他市町村では国保会計への一般会計からの繰り入れをしてこなかったようです。なぜできたのですか。

答 保健福祉課長

財政調整基金を設け、必要に応じて税率改正を行っています。

問 国保県単位化により、財政調整基金として1億円積み立てました。どんな場合に取り崩す考えですか。

答 保健福祉課長

自然災害や異常気象等により減免措置を講ずるなど、保険料が極端に減収となった際の財源補てんに充てることなどが考えられます。

神崎　安弘 議員

問 2期8年の自己評価は
答 進捗は着実も「道半ば」

平成29年6月一般質問の答弁で「特別職の給与をカットした財源で給食費、医療費の一部無料化に充当した。企業誘致、産業振興などは可能性を視野に進めている」と述べられました。次の点について伺います。

問 2期8年を迎えますが、進捗状況と自己評価は。

答 町長　災害への備えをはじめ、企業立地応援条例の制定、病院改革では訪問医療の拡充、レイクサイドマラソン開催、関係機関との連携協定など政策を着実に進めてきました。自己評価としては「道半ば」です。

問 今後取り組むべき課題は。

答 町長　一番の課題は「人口減少」と認識しています。これまでの政策を継続するなかで時代にマッチングしているか敏感に捉え、修正や新たな政策に挑戦することも必要と考えます。

問 人口減少問題は、自治体だけでは限界を感じます。国との連携で取り組むべきと考えますが。

答 町長　国への要望は、県知事をはじめ近隣首長との話し合いのなかで検討していきます。

▲町民とともに

問 これからのまちづくりをどのように進めたいと考えますか。

答 町長　引き続き多くの町民の方々と意見交換を行うとともに、さまざまな活動をされている町民へサポートしていく必要があると考えます。

問 「まちづくり懇談会」開催方法など見直す考えはありますか。

答 町長　平成28年度より「まちづくり懇談会」を約2カ月にわたり17会場で毎年開催し、3年が経過しました。次回までに検証し、日程や会場など効果的な開催に努めます。

問 多くの町民の方々と意見交換をすることは重要です。日程調整や各課長も同席することなどから、自ら「働き方改革」を率先すべきと考えますが。

答 町長　検討します。

的場　要 議員

問 バランスのとれる対策を
答 来年度に向けて検討する

平成29年12月会議の一般質問では、給食費の値上げについて「食材等の価格上昇により、賄い材料の調達については厳しい状況が予想されるが、当面は現状の金額で実施したい」との答弁でした。

問 給食センターの老朽化も含め、完全給食導入について今後の方針は。

答 教育長　現在の調理場は、建築後約30年経過しています。調理場については次年度以降に長寿命化計画を策定し、可能な限り長く使用していきたいと考えています。完全給食導入と一緒に今後も考えていく必要があると思います。

問 学校給食軽減事業は、小中学校全体の34％がこの支援を受けているという報告です。お子さんが1人の家庭でも多子世帯でも恩恵のあるような、バランスのとれる政策が必要だと思いますが。

答 町長　いろんな形で財源を捻出して施策を遂行したところですが、そういった声をいただいていることも事実です。財源も伴いますし、また、消費税の問題もあります。来年度に向けて検討していかなければならないと思います。

問 若い世代の意見を聴く機会は
答 非常に重要だと認識している

▲子育て世代の会議へ積極的に

問 これまで、まちづくり懇談会を積極的に開催してきました。しかし、若い世代の参加者が少なく、意見を聞く機会が少なかったと思います。人口減少や少子化など様々な問題がある中で、意見交換の場が必要と考えますが。

答 町長　これからの時代を担う若い世代との意見交換は非常に重要だと認識しています。次回開催時は、PTAをはじめ若い世代の会合などで、直接意見交換ができるよう対応したいと思います。

眞幡　善次 議員

問 奇抜な発想で地域おこしを

答 町民が主役で進めたい

NPOと町が立ち上げた「川崎町の資源をいかす協議会」による、水車のミニ水力発電所が完成しました。観光資源や環境教育の場として有効に使える施設で、まちおこしの起爆剤になります。

▲川二小3・4年生校外学習

問 今回の事業は、多くの町民の賛同を得て多額の寄付金が集まりました。町の協力もあり、県の助成金を活用して造られました。水車をいかした地域おこしの考えは。

答 町長

今回完成した水車は、行政が導いたわけではなく、多くの町民の皆さまや関係者の方々が手弁当で完成させた素晴らしいものです。「地域おこし」の原点だと強く感じました。

問「地域おこし」の手段として、水車は環境に配慮しつつ、交流人口を増やし、観光につなげることができます。今後、町の事業として積極的に取り組んでいく考えはありませんか。

答 町長

このような取り組みが町内いたるところに展開されるためには、行政が後押ししなければならない場合もあると認識しています。時期を逸することなく対応していきます。

▲自然の力で

▲そば粉が

問 まちおこし・地域おこしは奇抜なアイデアと発想のもと、思い切った展開を図ることが大切です。どこにもないような発想も必要です。今後の「地域おこし」において、町長が最も力を入れたい点を伺います。

答 町長

道の駅構想実現もその一つですが、町民が主役のまちづくりを進めるためにも、様々な方々のご意見や政策等を総合的に判断し、事業の推進を図っていきます。

高橋　義則 議員

問 農業・商業一体で

答 民間の方々のアイデアを

施政方針のなかで、道の駅を2023年に向けて開設すると述べられました。全国どこでも道の駅があるなかで、現在考えている道の駅はどのようなものか尋ねます。

問 道の駅構想はどのように考えていますか。

答 町長

可能な限り民間のアイデアやノウハウを活用させていただきます。

問 道の駅は多額の負担となりますが、費用対効果はどのように考えていますか。

答 町長

費用は民間の資金を活用できないか模索していきます。費用対効果は最少の費用で最大の効果が発揮されるよう取り組みます。

問 農業・商業が一体となり、道の駅を活性化させる必要があると思いますが考えは。

答 町長

町民の皆さまが利益を享受できるよう、そして誰もが誇れる施設であり続けられるよう、強い信念を持って取り組んでいきます。

問 道の駅の建設についても、町産材を使って外装、内装を板張りにし、財源は町民の方の寄付をもらい、自ら立ち上げるものにしたらどうですか。

答 町長

建物についても、多くの皆さんの意見をもとに、方向性を見いだしていきます。

問 住民の安全を確保すべき

答 今後も整備要望をしていく

▲風化が目立つ橋脚

近年、大型車を含めて自動車の通行量が大幅に増えています。また、橋は風化し鉄筋がむき出しになっているところもあります。安全確保のため、しっかりと対応すべきと考えます。

問 県道秋保温泉川崎線の現状をどのように認識していますか。

答 町長

道路幅員が狭く、橋の上では車両の交互通行が困難です。見通しが悪くカーブが急なため、車両通行に不便をきたしていますので、県南サミットでも知事に要望してきました。

問 地元住民は特に橋の老朽化を心配しています。橋が落下した場合、水道管も壊れ飲み水にも困り、陸の孤島になります。この現状をどのように認識していますか。

答 町長

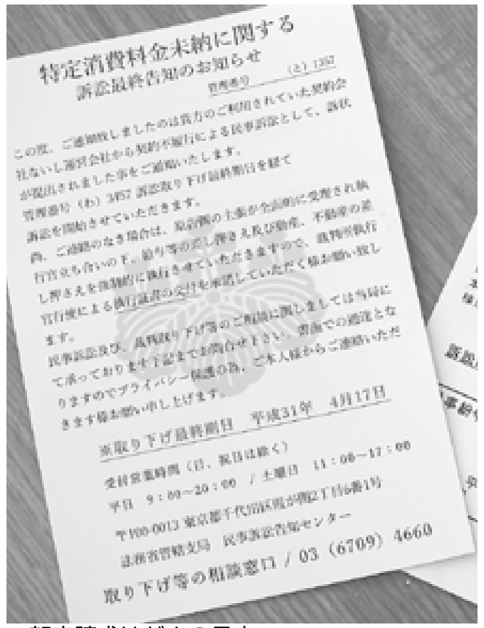
県からは補修していくとの回答がありました。改めて議会終了後、鉄筋がむき出しになった写真を持って、大河原土木事務所へ行きたいと思います。

佐藤　達也 議員

問 電話機に被害防止策を
答 すぐ対応したい

特殊詐欺による被害にあわれている方々が後を絶ちません。詐欺の手法も巧妙化し、役所職員や金融機関、警察官や弁護士を名乗り、相手を信用させて犯行に及んでいます。

そこで、被害防止策の見解を伺います。



▲架空請求はがきの見本

問 一人ひとりが騙されないという意識を持つことが大切ですが、詐欺被害にあわないための対策が必要です。行政としての取り組みは。

答 町　長

「町消費生活相談員」が随時相談を受けています。町広報の活用、「防犯指導隊」とのキャンペーン、郵便局との協力などで啓発を実施しています。「交通安全母の会」の方々には、交通安全のほか、注意喚起を実施していただいています。

問 警視庁では、家族間の「合言葉」、留守番電話活用や防犯機能を備えたものが有効だとしています。多くの詐欺は、電話を利用することから、受話器に「ちょっと待って詐欺かも」と喚起するステッカーを配布しては。

答 町　長

多額の金銭をだまし取られることを防ぐためにも、対策を充実させなければと思います。

提案されたことも効果があると思いますので、早期に対応したいと思います。

▲詐欺被害にあわないため

問 考えを示すことで
答 役割を確認し対応

問 町づくりには、区長をはじめ多くの方々にご尽力をいただいています。しかし、活動するなかでコミュニケーションでの様々な問題・課題を抱えています。

そこで行政の考えと対応を伺います。

答 町　長

活動がしづらいとの声を耳にしています。行政と地域住民が一緒に取り組むことが大切です。現場でのご苦労もされていますので、互いの役割を確認し、対応を検討したいと思います。

遠藤　美津子 議員

問 周知・啓発は
答 広報紙やホームページに掲載

不育症とは、妊娠が困難な不妊症とは異なり、妊娠はするものの流産、死産を2回以上繰り返し子どもが得られない場合と定義付けています。近年は適正な検査や治療を受ければ、8割以上の方が出産にたどりついています。

問 不育症についてどのような認識を持っていますか。

答 町　長

不育症は、その原因や治療方法が少しずつ明らかにされているものの、医学的研究が行われている段階です。早期に有効な治療方法を確立することが望まれます。これまで相談や問い合わせなどは、ほぼありません。

問 相談窓口と周知啓発について伺います。

答 町　長

相談があった場合は「宮城県不妊・不育専門相談センター」を紹介するなど適切な対応をしています。周知啓発については、広報紙や町のホームページなどで広く効果的に周知できるよう努めていきます。

問 治療には多額の費用がかかります。助成について伺います。

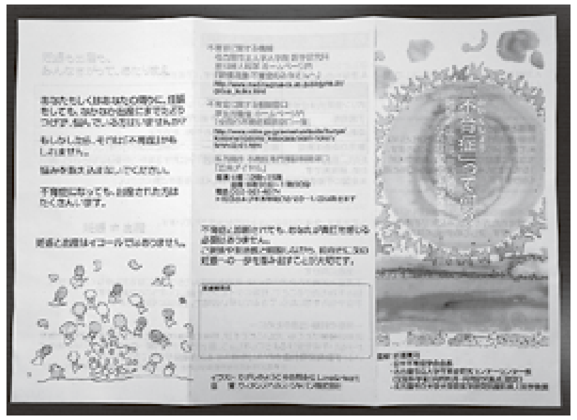
答 町　長

現状把握と情報の収集、近隣市町の動向を踏まえ検討します。

問 若い世代に情報を伝えることも重要です。保健教育での普及啓発について伺います。

答 町　長

町の教育委員会や学校とも意見交換しながら判断していきます。



▲周知を促すリーフレット

問 自由な選択を
答 要望があれば検討

問 性別に関係なく自由に選べる制服を導入する学校が増えています。生徒や保護者のアンケート調査などを踏まえ検討してはいかがですか。

答 教育長

要望があれば各学校の意見を聞き、周辺地域の様子も見ながら導入を検討していきます。

問 冬は寒いということもあり、スカートの中にジャージを履いて歩く姿も見受けられます。自転車での通学など、女子にとってスラックスは活動しやすく健康にも配慮できると考えますがいかがですか。

答 教育長

選択の自由、寒さ健康対策と保護者との意見交換をしながら、制服の在り方について考えていきたいと思います。

沼田　長一 議員

問 倒壊恐れの空き家実態は
答 建物別に判定が必要

全国的に空き家が増えています。空き家バンクの制度により一部を利用していますが、今にも倒壊しかねない物件も見受けられます。景観及び安全上の問題から対策が必要と考えます。

問 空き家バンクに登録されている割合はどのくらいですか。また、未登録の空き家のうち倒壊の恐れのある実態を把握していますか。

答 町長　平成28年度に空き家実態の調査で286件存在しています。空き家バンク登録割合は25・4％となっています。

倒壊の恐れがある物件は、建物別に調査判定しなければならないため、調査・把握はしていません。

問 倒壊の恐れのある空き家について、町の対応は。

答 町長　とても危険な状況であれば、通知しなければならないと思っています。

問 高齢者世帯にエアコンを
答 限られた財源では困難

昨年は全国的に猛暑による熱中症患者が出ました。特に高齢者が多く社会問題となっています。高齢者世帯ではエアコン設置する場合、負担が大きくあきらめています。

問 町民の熱中症患者を出さないためにも、高齢者世帯へのエアコン設置に対する補助が必要と考えます。見解は。

答 町長　設置を望む高齢者世帯に支援する場合、膨大な予算が必要となります。厳しい財政運営が強いられるなか、限られた予算を効果的、効率的に福祉政策にいかすかを考えれば困難であると判断しています。

問 熱中症防止のため、さらなる周知が必要では。

答 町長　広報紙・健康推進委員を通じて啓発・啓蒙していくべきだと思います。

▲熱中症は予防が大切

6月会議 第2回 28日

指定管理者決まる
スキー場通年営業が本番へ

■ **提案理由**

8月31日の指定期間満了に伴い新たに指定管理者を指定したいので、議会の議決を求めるものです。

対象施設 みやぎ蔵王セントメリースキー場

指定管理者
- 所在　川崎町大字今宿字猪ノ沢3番地の10
- 称号　株式会社ゆらいず
- 代表者　代表取締役　鈴木　章弘
- 指定期間　令和元年9月1日から令和5年5月31日まで（3年9カ月間）

可決

佐藤（昭）議員

問 新シーズンに向け話題になる点は。

地域振興課長

答 グリーンシーズンで11回券を新設。また、農産物販売もします。

的場議員

問 次の指定管理は指定期間を3年9カ月、令和5年5月31日までとした理由は。

地域振興課長

答 ホワイトシーズンとグリーンシーズンのはざまにある5月が最適と考えました。

指定管理者制度とは

公共施設の管理に民間のノウハウを導入し、経費削減など効率化を図るのが目的
（平成15年9月法施行）

町の指定管理は3施設

- みやぎ蔵王セントメリースキー場
- 町交流促進施設（るぽぽの森）
- 青根観光施設（じゃっぽの湯等）

指定管理者選定の流れ

公募　一定期間に希望者を募集
←
選定委員会に諮問　条例に基づいて選任された委員で事業者を選定
←
町長へ答申　議会へ提案
←
「指定管理者の指定」を議決

総務民生常任委員会　報告

調査日　5月16日

調査事項①

ふるさと納税の現状
返礼品は町内産で

【調査結果概要】

ふるさと納税は平成20年度から実施しています。26年度までは年平均16件の42万円。27年度は確定申告が不要になるワンストップ特例申請制度の導入で、１９７件の約４５７万円。さらに28年度からは専門業者に業務委託を開始したこともあり、30年度は１７６６件の約２７１５万円と増加しています。返礼品は日本酒、食品、温泉宿泊券、一日町長体験など60品目以上です。30年度は日本酒が９割を占めています。

▲9割を占める日本酒

【委員会意見】

自主財源の確保と産業振興の波及効果を高めるため、そして町の魅力をPRすることにつながるよう、返礼品は川崎町特産物・商品の採用や開発を検討してください。

また、返礼品の日本酒が、寄付者に届くまで数カ月掛かっている実態です。受け付けから返礼品の発送等までの管理を専門業者へ業務委託しているので、期間短縮するように対応してください。

調査事項②

各種健康診断の取り組み
意識改革を第一に

【調査結果概要】

住民総合健（検）診は、生活習慣病による心臓病・腎臓病・脳血管疾患を予防するための特定健診をはじめ、結核・肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、肝炎検査、成人歯科検診等を１日で受けられる総合健（検）診型で、早朝から受け付けを行い、短時間で効率的に受診できる体制をとっています。

受診率は横ばい状態となっており、特に働き盛りの40・50代の受診率が低調です。

▲受診で早期発見

【委員会意見】

住民の受診しやすい体制と環境整備を図るとともに、健診を受けてもらえるよう住民に対しての周知やPRを続けてください。

また、住民の健康を守るためには、住民自身が関心を持つことが大切です。病気の早期発見、早期治療など重症化を予防することで医療費の抑制にもつながるので、受診者の意識改革を第一に保健指導を強化してください。

直近の特定健診受診率は県内６位ですが、１位となれるよう、さらなる受診率向上に努めてください。

産業建設教育常任委員会　報告

調査日　5月17日

調査事項①

マラソン事業と補助事業の運営
観光事業も活用視野に

【調査結果概要】

川崎レイクサイドマラソンは、カテゴリー５区分、男女年齢別17種目として開催しています。２回目となった昨年は申込者１７１０人、当日参加者は１４５０人で、低温だったことから医療救護も少ない大会でした。また、ボランティアを含めたスタッフ総数は６７２人でした。

昨年大会でアンケート調査を実施した結果、おおむね好評を得ていますが大会運営の反省・改善を行い、さらに良い大会にしたいと考えています。

▲今年も号砲が鳴る

【委員会意見】

ランナー目線に立って、楽しんでもらうことを基本として運営してください。良いと思ったことを積極的に行い、変化を恐れない運営を心がけてください。また、大会を機に町の観光事業も利活用するよう改めて検討してください。

参加者へ競技前・競技後の対応もスムーズに行えるよう会場環境も整えてください。特にトイレは気持ちよく利用してもらえるよう、男女別エリアや悪天候時の清掃を考慮したものとしてください。

調査事項②

町営住宅の計画と管理状況
安全と事前の指導を重点に

【調査結果概要】

町営住宅は、平成28・29年度建築した北川原山住宅22世帯をはじめ町内に全１２９戸数を有し、現在１１１戸に入居しています。

維持修繕は、平成29年が31件３００万円余、平成30年度が42件３７５万円余となっています。

中原住宅の建築は18世帯となる予定で、完成すれば当初計画が完了となります。今後は北原住宅及び青根地区住宅を視野に入れながら、建築の有無を検討し町有地の活用を図りたいと考えています。

▲老朽化対策視野に

【委員会意見】

老朽化した住宅の維持修繕費は、主に水回り・屋根修繕となっていますが、安全対策も視野に入れた維持修繕を図ってください。今後は入居率の検討とともに、新築だけでなく改修リフォームで維持することも考慮してください。管理は特に社会問題となっている「ゴミ屋敷」とならないよう注視・指導を徹底してください。また、悪質滞納者には、これまでどおり弁護士と協議し厳しい対応を継続してください。

研修レポート 情報から学ぶ

仙南・亘理常任委員長研修会 7/4・5

蔵王町を会場に、９つの町議会の正・副議長及び各常任委員会委員長出席のもと開催されました。

初日は事例発表で
「運営と活性化について」美里町議会
「議会モニターについて」亘理町議会

２日目はパネルディスカッションで
「地域公共交通の状況」
「議決すべき事件を定める条例」をテーマに各町議会より報告、意見交換を行いました。

報告書の一部を紹介します。

課題検討と評価の導入

産業建設教育常任委員長　佐藤達也

はじめに「美里町議会の運営と活性化について」と題した美里町議会議長、大橋昭太郎氏の講演を伺いました。

当議会で取り組むべき課題は次のとおりです。

①予算・決算審査特別委員会での現地確認。
②本会議中継ログカウントの集計。
③災害時の議会・議員の行動マニュアル。
④中学校への出前授業。

次に「亘理町議会の議会モニターについて」の講演を同町議会の議会運営委員長から事例発表がありました。当議会としても積極的に導入を検討しなければなりません。ただし、議会活動・活性化にあたり客観的評価を得るための方法は、町民への直接調査・意見交換会等の開催・SNSの活用などもありますので、慎重に検討しなければなりません。大切なのは、それら意見をどのように反映させ、実行・報告・改善していくかだと思います。

長期計画に柔軟性を

総務民生常任委員長　石野博之

地域公共交通の各町の状況は、ミヤコーバス、町営バス、デマンド型乗り合いタクシーの運行を行い、高齢化が進行するなかで、交通弱者のための公共交通の充実を図っています。

町単独事業では、町外の病院に行くことができない問題が発生しています。今後は近隣町と事業提携が必要です。地域公共交通は不採算事業となりますが、当町でも実情に合った基準づくりが必要と感じました。

議会の議決すべき内容を定める条例で各町の状況はさまざまのようですが、当町では重要な計画等の決定に参画する観点から、議会の議決事項として議会基本条例で定めています。特に長期計画策定にあたっては、具体的な政策まで決めることは、社会情勢が目まぐるしく変化する今日、運営の硬直化を招きかねない恐れがあると思いました。

当町の長期計画でも、政策の方向性や基本的な理念の議決に留めることなどの対応が必要と感じました。

県町村議長会議員研修会 7/8

七ヶ浜町を会場に、県内町村議会議員を対象として開催されました。「後世に誇れるまちづくりを目指して～震災後の現状と課題～」をテーマに齋藤山元町長から、「生き残るためのインテリジェンス～東アジアのなかの日本を考える～」をテーマに、ジャーナリスト手嶋龍一氏より講演をいただきました。当議会からは８人が参加しました。

報告書の一部を紹介します。

地方の声を

神崎安弘議員

山元町長からは東日本大震災の復旧・復興について報告がありました。各自治体でも震災を教訓に様々な取り組みや対策を講じています。

この報告を参考に、町民の意見を聞きながら行政と議会の役割を果たしていきたいと思います。

手嶋龍一氏からは、経済動向は貿易交渉に係っていると伺いました。今、アメリカや中国に限らず経済制裁などで関税の引き上げの応酬です。経済は、国内と限らず貿易相手国の動向によって大きく左右されます。国の問題と思わず地方から声を発し、意見を述べていくべきと考えさせられました。

戦略を参考に

沼田長一議員

講演のなかで最も印象に残ったことは、山元町長の東日本大震災後、町民と行政が一体となった対応で「後世に誇れるまちづくり」ができることを改めて感じたことです。

当町では広範囲に集落が点在しています。今後人口減少に伴う過疎化が進み、行政コスト抑制のためにも集約化が必要になってくると思います。その場合、参考にすべき点が多く感じられました。

また「やまもと夢いちごの郷」のオープン後４カ月で40万人の来場者数の多さに驚きました。「いちご」「ほっき貝」「りんご」の三大特産品を生かした集客力は素晴らしいものだと思います。

当町でも２０２３年に「道の駅」開業を予定しています。山元町のように有名な特産品はありませんが、戦略などを参考にすることは数多くあると感じてきました。

研修レポート

広聴広報 なかみの充実と研鑽に励みます

アンケート調査結果を受け、これまでの広報紙以上に読みやすさ、分かりやすさを目指していきます。

また、議会活動においても、町民のみなさんと対話をする企画をつくっていきたいと思います。

当議会の広報紙づくりに、これまで以上に全国の議会から視察研修で来庁されています。「研鑽」を積む機会として積極的に受け入れを行っていきます。

声に耳を傾けて

専門用語は解説を添え

写真は多く短い文章で

埼玉県宮代町議会様

色や構図に工夫を

山形県西川町議会様

7月会議

7月16日、町から提案された工事契約案件1件、条例改正案件1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。ここでは、その一部を紹介します。

すべて可決

入札参加1社8800万円で

工事請負契約締結

■提案理由

落札者と7月4日に仮契約を締結したので議会の議決を求めるものです。

工事名　釜房環境浄化センター中央監視制御設備更新工事
契約の方法　総合評価落札方式による請負
契約金額　8800万円
契約相手方　東芝インフラシステムズ㈱東北支社

問 的場議員　取り替え部品もなくなってきています。更新後の耐用年数は。

答 建設水道課長　15年ほどですが、点検整備で長寿命化を図ります。

貸し切り要望と適正価格に

セントメリースキー場の設置及び管理に関する条例の一部改正

■提案理由

冬期間以外の平日貸し切り要望やレンタル用品の適正価格を反映し、料金表の上限額を増額するものです。

問 石野議員　今回の提案が公募時の条件でなかった理由は。

答 町長　管理者が行うことに、弾力性を持たせたいと考えた結果です。

かわさき想い人

大河原町にある、みやぎ県南中核病院で看護師として働きながら狩猟免許を取得し、捕獲隊員として活動中の及川美代子さんを紹介します。

イノシシ被害にビックリ

Q 狩猟免許を取りたいと思ったきっかけや感じたことは。

A 進学を機に約10年地元を離れ、戻ってきたら自宅の庭がイノシシや猿の被害で驚きました。そのようなとき、叔父に勧められました。実際、鳥獣の種類により技術、知識、経験が必要で、先輩方から吸収していくことが大事です。

仕事でもプラスに

Q 看護師として勤務をしながら、休日を捕獲隊員として活動していますが、狩猟をやり始めて良かったことは。

A 狩猟を始めたことで、町との関わりやさまざまな年代の方と接する機会が増えました。また、イノシシの話題で患者さんとのコミュニケーションが取りやすくなったことです。

及川（おいかわ） 美代子（みよこ）さん（本砂金）

関心をもつこと

Q 及川さんは狩猟に興味を持って免許取得したわけですが、必要だと思うことは。

A 私も本や漫画からイメージで始めたので、関心を持つことが大事だと思います。

衛生的に処理可能

Q 昨年処理施設が完成しました。使ってみての感想や改善点はありますか。

A 捕獲したイノシシなどの処理は場所の確保や労力的にも大変な作業です。処理施設ができたことで迅速かつ衛生的な対処ができるようになったと思います。

戻りたいまちづくりを

Q 町や議会に対して何か意見はありますか。

A 若い世代が進学などで離れても、戻りたいと思えるようなまちづくりをお願いします。また、「狩猟免許取得費用の補助」の継続をお願いします。狩猟に関心を持つ人が増えるように、公民館や分館に狩猟の本を置いてほしいです。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は9月30日(月)
一般質問は10月7日(月)・8日(火)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は6月会議12人、6月第2回会議と7月会議0人、ライブ中継は60アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで　TEL(0224)84-2111(内線1302)

意見交換・懇談会を企画します!!

議会では、ご意見・ご要望を伺う活動をしていきます。ご協力とご参加をお願いいたします。

町の風景

「環水平アーク」見たことありますか

撮影　コラボレーター　佐々木和人さん

※環水平アークとは、太陽の下にほぼ水平な虹色の帯が発生する現象です。太陽高度が地上から58度以上の位置にあり、低空に雲のないときにしか出現しません。

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明

「ひびけ どこまでも」
川崎小学校運動会にて
撮影　コラボレーター　藤原義信さん

発行　川崎町議会　編集　議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL(0224)84-2111・FAX 84-6789
E-mail:kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷　株式会社津田印刷